

# 豊沢川土地改良区 (岩手県)

当土地改良区は岩手県のほぼ中央に位置し、豊沢ダムやその本支流を水源とし、花巻市と北上市の一部約5千haを受益地としています。近年は小水力発電など再生可能エネルギーを活用した発電収入を土地改良施設の維持管理費へ充当する取組を行っています。



後列 右から 川村理事、阿部理事  
前列 中央 久保田理事長

## 組織の概要

面積 : 4,984ha  
組合員 : 3,114人  
理事 : 11人 (うち女性員外2人)  
監事 : 3人 (うち女性0人)  
職員 : 20人 (うち女性3人)  
通常の理事 : 立候補又は推薦による  
登用方法

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月24日 定款変更(定数増、員外規定)  
7月28日 総代会にて選任  
11月12日 理事就任  
(任期: 令和9年11月11日)

### あべみちこ 阿部美智子理事



**経歴**  
岩手大学評価委員会委員等の他、地元の農地・水・環境保全組織の監事も務める。

**理事になって思うこと**  
(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

土地改良区は、自然環境や地域農業に深い関りがあることを知りました。  
女性が土地改良区の運営に参画することで多様な意見・情報交換ができる場としていきたいです。

**女性理事登用を進めるための秘訣**(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)  
土地改良区において女性が運営に参画している現状を伝え、まずは組合員に気軽にお声がけしてみることをお勧めします。

### 阿部さんが理事を引き受けるまで



役員

※どのように説得したか。  
土地改良区とは全く違う場所で活躍されており、その知識を生かして欲しい。



阿部理事

※引き受けた決め手。  
農地・水・環境保全組織で土地改良区とも関わりがあったので、以前から興味があった。

くぼたたいき

### 久保田泰輝 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。  
女性理事については、男女共同参画の1つとして土地改良区でも努力目標が掲げられたタイミングで役員改選があり、今回2名の女性理事の誕生となった。事業の特定された団体ではあるが、員外理事として女性としての新たな目線での事業展開に期待しております。

### かわむらひめこ 川村姫子理事



**経歴**  
農業の他、いわて花巻UMEEGU隊代表等、様々な女性活動組織の代表を務める。

**理事になって思うこと**  
(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

これからは農業に従事する女性の活躍の場がますます広がると思います。女性目線で土地改良区の運営に意見できる機会が増えることを期待しておりますし、女性理事の登用が更に増えることを期待しております。

**女性理事登用を進めるための秘訣**(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)  
総代への女性の登用やJA女性部や女性農業委員など関係団体や県内の他の土地改良区的女性理事との交流を通じて土地改良区の施設や水田の水管理の大切さを伝える機会を設けていきたいです。

### 川村さんが理事を引き受けるまで



役員

※どのように説得したか。  
様々な女性組織の中で活躍されている方なのでそれらの経験を生かして欲しい。



川村理事

※引き受けた決め手。  
主人が総代を務めていたため、土地改良区のことには知っていたが、女性の声もある方が良かった。

### 総務課長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。  
女性理事が新たに役員として加わったことにより、理事会においては今まで聞かれたことのないような質問等があり、はじめは戸惑いもありましたが、今では事務局、役員とも事業の内容や何が聞きたいとかがわかるようになり、以前とは違った理事会の雰囲気となった。